

展開例8 教師用「生徒理解シート」を進路面談に活用する

1. ねらい

- ①個性を理解し、将来を考えながら進路を方向づけできるようにさせる。
- ②検査結果を生かしながら、生徒の考え、悩みを理解する。
- ③自己理解を土台に、将来に向けた目標を考えさせる。
- ④教科の学力向上など進路実現のための具体的な準備に取り組みさせるきっかけとする。

2. 準備するもの

- ①教師用「生徒理解シート」

●事前の準備

教師用「生徒理解シート」をチェックする。以下の①～⑥について事前に教師用「生徒理解シート」にマークをしておくと、面接時にあわてなくてよい。

●チェックポイント①

「希望実現！」の「進学希望」

- ・生徒の進路予定が「未定」になっていないか。
- ・生徒の進路予定と家族の進路予定が異なっていないか。

●チェックポイント②

「希望実現！」の「悩み調査」

- ・チェックされている項目があるか。

●チェックポイント③

「文理発見！」の「文理希望調査」

- ・生徒の文理希望が「未定」になっていないか。
- ・生徒と家族の文理希望が異なっていないか。

●チェックポイント④

「個性発見！」の各プロフィール

- ・各プロフィールで高いところや意外なところ、ユニークなところはないか。

面接・相談は生徒も緊張する。事前に教師用「生徒理解シート」から生徒の長所や特徴を把握し、穏やかで和やかな雰囲気づくりに努力する。また、生徒への「ほめ言葉」をストックする。

●チェックポイント⑤

「個性発見！」の「生徒のアピールポイント」

- ・「ジブラボ」から判断できた生徒の長所が挙げられている。
- ・大学への提出物や面接等に利用してほしい。

●チェックポイント⑥

「適性発見！」

- ・生徒の希望している進路先の総合適性はどうか。

●面談

「今日は先日行った適性検査の結果を踏まえながら、進路について相談しましょう。」

①生徒の進学希望や文理希望を確認する。

「あなたは学問分野の『人間の行動や意識の研究』を希望しているね。自宅外から通学してもかまわないけど、浪人はしたくないと思っているね。具体的な大学や学部の希望があったら教えてくれるだろうか。」

こんな場合は…

- ・進学希望や文理希望で本人と家族の希望が一致している場合（例：本人、家族とも国公立大学・文系希望で自宅外の通学も可、そして浪人はできない、ということで一致の場合）

声掛け例

「君は進学希望が「法律・政治の専門知識」だね。法律の知識を生かした仕事が将来の夢なんだね。国立大学の法学部志望で、国立大学だったら他県でもいいんだね。君は今からしっかりと自分の目標をもっていると思う。これからも君の目標に向かって前進できるように先生と一緒に考えていこう。」

- ・進学希望や文理希望で本人と家族の希望が不一致の場合（例：本人は私立大学・文系希望、自宅外の通学も可、浪人も可だが、家族は国公立大学・理系希望、自宅からの通学、浪人は不可、という回答）

「君と家族の進路予定の希望がなかなか合わないみたいだね。君は具体的に入学したい大学名などは決まっている？ 家族と普段から進路や将来の話をしていれば、お互いの考え方がわかって、進路決定の直前にトラブルになることもないと思うよ。まだ1年生だ。家族の方と少しずつでもそういった話題を会話のネタにしていこう。今度の三者面談のときに、先生からも親御さんの気持ちを聞いてみようか。」

- ・生徒の進学希望や文理希望が「未定」になっている場合

「まだ進学希望や文理希望が決まっていないようだね。これをきっかけに将来について調べてみよう。今少しでも興味があることはないかな。」
（「個性発見！」の「興味プロフィール」で高いものについて『「援助」や「環境」に興味が高いようだね。自分ではどう思う？」などともちかけてみてよ。）

- ・生徒の進学希望・文理希望と家族の進学希望・文理希望がすべて「未定」の場合

「まだ自分の将来をきちんと考えていないのかな。この『ジブラボ』の結果を踏まえて、自分の将来の目標を先生と一緒に考えてみようか。」

②進学希望先の適性について確認する。

こんな場合は…

声掛け例

・進学希望先の総合適性が高い場合

「今回の結果では、進学希望先の適性が高いようだね。これからも、希望を実現させるために、さらにどういったことに力を入れていけばよいのか考えて実行してみよう。」

・進学希望先と総合適性が一致していない場合

「今回の結果では、進学希望先の適性があまり高くなかったようだね。適性を高くするためには、どういったことに力を入れればよいのか考えてみよう。また、希望していなくても総合適性が高かったほかの学問分野について調べてみたらどうだろう。新しい発見があるかもしれないよ。」

・進学希望先が「未定」の場合

「今回は進学希望先が『未定』だったけど、これをきっかけに将来について考えてみよう。総合適性が高かった学問分野をチェックして、その情報を集めてみよう。」

* 「文理発見！」の「文理判定マップ」も参考にアドバイスをする。

③悩んでいることはないか確認する。

こんな場合は…

声掛け例

・「悩み調査」にチェックされている場合

「〇〇で悩んでいるようだね。詳しく教えてくれる？」

・「悩み調査」にチェックされていない場合

「この検査では進路で悩んでいることはなかったようだけど、何かあったらいつでも声を掛けてね。」